

導入事例

コスト削減の事例

大手資源探査企業、重要なソフトウェア変換を
詳細な使用状況レポートでシームレスに管理

“Open iTのスペシャリストの協力を得て、最も重要なアプリケーションのライセンス管理ルールを設定し、現在はビジネスの意見に基づいてさらに追加しています。”

テクニカルコンピューティング・アナリスト
大手資源探査企業

概要

- ある大手資源探査企業は、地質探査やそれに伴うエンジニアリングの分野の業務に支障をきたすことなく、ITコストを削減する必要がありました。
- 各ユーザーのソフトウェア使用状況を把握し、非アクティブ状態のライセンスを自動的に解放することで、真のコスト削減を実現しました。
- あるソフトウェア製品だけで、ペーパーユースライセンスで推定8300万円のコスト節約を達成しました。
- Open iTの使用状況レポートのおかげで、関係者の賛同を得られ、重要なソフトウェアの変換をサポートできました。

会社概要

この会社では、IT 予算のうちソフトウェアライセンスの占める割合が高く、地球科学とエンジニアリングの分野で重要なソフトウェアの可用性を維持しながら、コストを削減することが望まれていました。同社で最も高価なソフトウェアライセンスを消費している技術部門とIT部門とのコラボレーションにより、大幅なコスト削減が実現し、ソフトウェアサポート業務の一部を自動化する方法についての理解も深まりました。さらに、同社は、レガシーアプリケーションから新たな種類のソフトウェアへの移行を支援する必要がありました。Open iTは、技術変換の管理を支援する貴重なツールとなりました。

経営課題

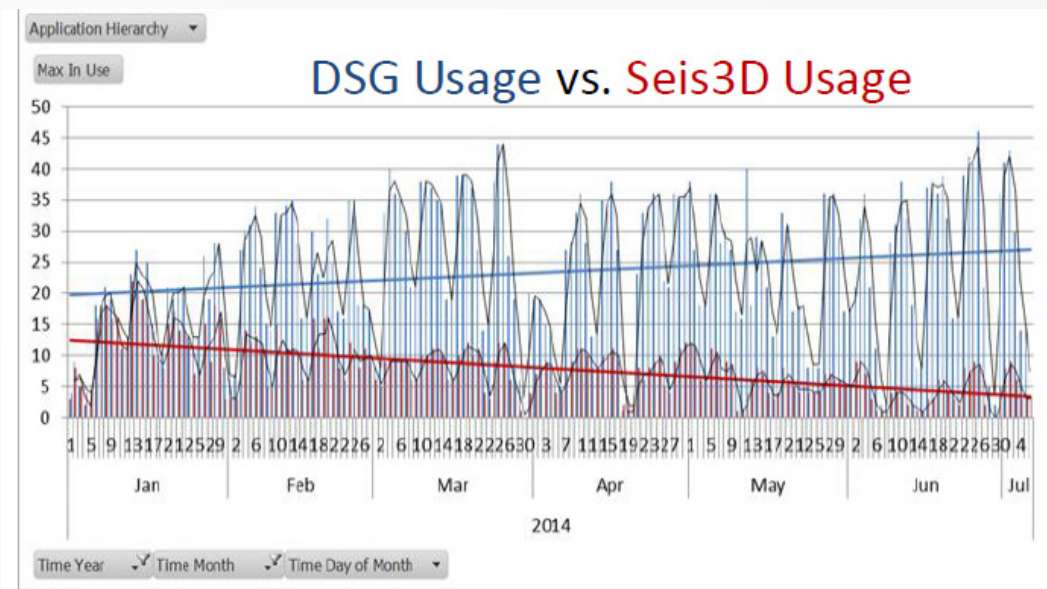
同社が初めてOpen iTを購入した2006年当時、ITチームは技術系アプリケーションの主要ユーザーが必要なソフトウェアに確実にアクセスできることを重視していました。ユーザーは、ビジネスライフサイクルのピーク時にアクセスを拒否されたり、ライセンスの追加を求められたりしていましたが、どれだけのライセンスが利用可能で、誰がそれを使っているのかについての情報はほとんどありませんでした。

Open iT LicenseAnalyzer 2022 Level1の導入だけでも、テクニカルコンピューティングのサポートチームは、新しいライセンスが実際に必要かどうかを文書化し、ビジネスニーズに合ったライセンス契約を交渉するために活用していました。2015年にさらなるコスト節約を目指した際、注力したのがソフトウェア資産にかかるコストの削減でした。経営陣やIT部門だけでなく、多くのユーザーも、自分たちの仕事の結果に影響を及ぼさないのであれば、意欲的にコスト節約を模索しようとしたのです。

この世界的な大手資源探査企業では、Open iT ソフトウェアが、重要なアプリケーション資産のコスト削減と重要なソフトウェア変換のサポートに使用されています。Open iT は、ライセンス管理を最適化し、複数のソフトウェアベンダーにおいて最もコストが低減できるライセンス形態の組み合わせを可能にすることで、大幅なコスト削減を可能にするデータを提供しています。

重要なソフトウェア変換を管理すること

科学チームは、同じベンダーのソフトウェア製品を変更することに関心を持っていました。そのため、ユーザーからの賛同を得るとともに、変更を主導し、ワークフローの再設計をサポートし、新たなツールについてユーザーをトレーニングし、導入状況のモニタリングを行うことが必要でした。



Open iTの使用状況レポートから、各地域のパワーユーザーを識別するためのデータが得られました。彼らが評価と変換に協力し、一方Open iTは新しいソフトウェアの普及と、古いソフトウェアの使用の減少率をモニタリングしていました。

解決策





当初、Open iT LicenseAnalyzer 2022 Level 1 は、使用状況をモニタリングし、追加ライセンスが必要な時期を特定するために購入されました。例えば、アプリケーション管理者はOpen iTポータルにアクセスし、モニタリングしたいアプリケーションに移動して、利用可能なライセンス数、誰がチェックアウトし、いつ使用を開始したかを示す詳細までドリルダウンすることができます。

WELLCAT_DRILL_CASING (2) 11			
Username	Host	Checkout	In Use
hancs9	PETHOU-CIT19	2015-05-20 07:23:00	1

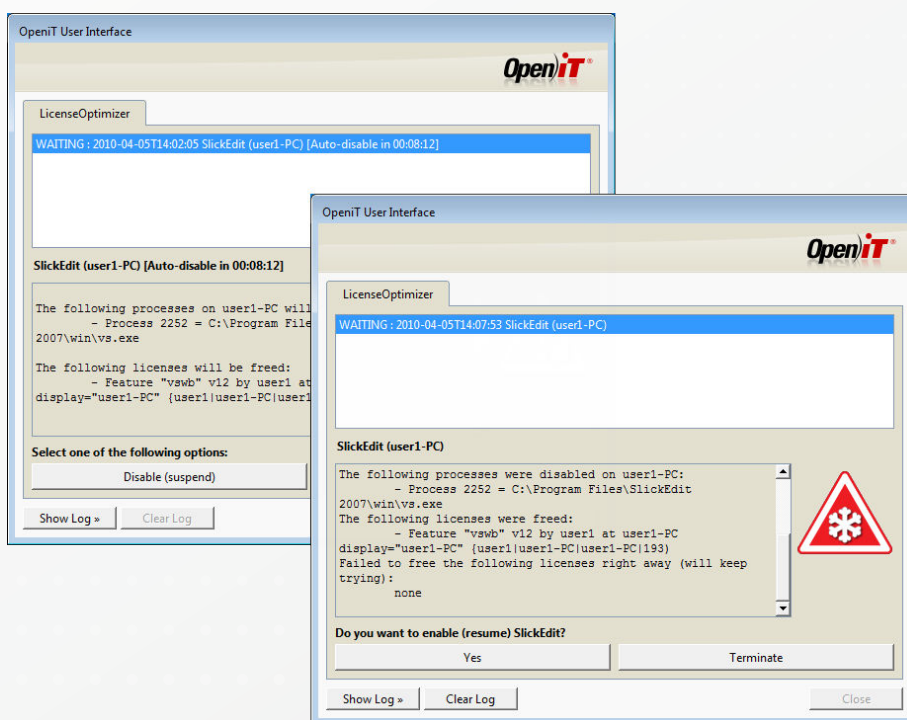
Go to page: Show rows: 1-1 of 1

この例では、ユーザーが早朝にライセンスをチェックアウトしており、使用状況には無駄がないようです。

下図のケースでは、複数のユーザーがライセンスを2週間以上チェックアウトしており、チェックインし忘れていた可能性があり、利用可能なライセンス数が減少していることを示しています。ユーザーへのアラートにより、使用されていないライセンスを解放するように促すことができます。ライセンスの無駄な使用を防ぐには、多くのコミュニケーションが必要です。

DSBASE (66)				34 32	
Username	Host	Checkout	▲	In Use	
 karam	phouprgsrvl101	2015-04-29 18:56:00		1	
 preska	phouprgsrvl139	2015-05-04 08:14:00		1	
 tades	phouprgsrvl007	2015-05-05 09:20:00		1	
 vaugjr	phouprgsrvl095	2015-05-06 11:02:00		1	

2014年にOpen iT LicenseAnalyzer 2022 Level 3が追加された際、コスト削減の機会を理解するためにビジネス部門が関与しました。ITチームとビジネスチームのリーダーが協力し、技術ユーザーの作業を中断させることなく、使用していないライセンスのチェックインを自動化しました。



LicenseAnalyzer 2022 Level 3 の使用は、創造的な方法でビジネスに導入されました。まず、3つの「主力」アプリケーションの主要ユーザーを、Open iT の使用レポートを確認することで特定しました。これらのユーザーはまず、使用されていないライセンスの一時停止による影響を試しました。非アクティブ状態のアプリケーションを停止する影響を検証できるように、アプリケーションをチェックアウトしたままにしようとしたのですが、彼らは皆、このプロセスを他のメンバーに紹介することに賛成してくれました。ITチームは、チェンジマネージャーに導入の支援を依頼しました。技術系ユーザーが座るフロアにポスターを貼り、ビジネススポンサーから全ユーザーに説得力のある通信を送り、IT部門からはこのプログラムに関する通知を送りました。それ以来、ペーパーユースの時間を最小限に抑え、その分を必要な部分の永久ライセンス購入に還元する方法を交渉した結果、真のコスト削減が実現しました。Open iTは、この改善のためのデータ収集、分析、自動化ツールとなっています。

導入したテクノロジー

Open iT LicenseAnalyzer 2022 Level 1は、複数のベンダーの永久ライセンスとペーパーユースライセンスを組み合わせたライセンス契約のモニタリングと交渉のために導入されました。

Open iT LicenseAnalyzer 2022 Level 3は、ユーザーに作業を中断させることなく、使用されていないライセンスを静かに一時停止させるために追加されました。より多くのライセンスをプールしておくことで、ユーザーは必要な時に必要なソフトウェアにアクセスすることができます。両方のOpen iT製品の機能を組み合わせることで、ITサポートグループは、ユーザー部門の投資と生産性のバランスを確保するために、ライセンスタイプの適切な組み合わせを交渉することができます。

顧客がOpen iTを選んだ理由

「多様で広範なアプリケーションとライセンスサーバーのポートフォリオにわたってソフトウェアライセンスをモニタリング・管理するスクリプトを作成することは困難であり、あまりにも多くのリソースを消費してしまいます」とOpen iTソフトウェアの日常的な運用を担当するテクニカルコンピューティング・アナリストは説明しました。「Open iTのスペシャリストの協力を得て、最も重要なアプリケーションのライセンス管理ルールを設定し、現在はビジネスの意見に基づいてさらに追加しています。IT部門がユーザーにライセンス管理への参加を求める環境から、ビジネス部門が直接的に支援を求める環境に移行したのは新鮮なことです。」

予想された利点

ある一つのソフトウェア製品だけでも、ペーパーユースライセンスが使用されている4時間以上のセッションを特定することで、ペーパーユースライセンスのコストを8300万円削減できることが、推定されました。最適化されているアプリケーションに他の高コストのアプリケーションを追加し、使用されていないライセンスが解放されるまでの時間を4時間から1時間に短縮することで、節約額は大幅に増加することになります。

コスト削減を実現するための次のステップは、他のどのアプリケーションをモニタリングし、最適化するかを評価することにあります。データの収集と評価が進めば、アプリケーション管理チームは間違いなく供給チームと協力し、企業全体で使用されるさらに多くの技術およびビジネスアプリケーションについて同様のライセンス契約を締結することになるでしょう。

Open iTについて

Open iTは、柔軟なソフトウェア使用状況の計測・管理ツールを提供し、顧客へ最良のITソリューションを提供しようとする企業のサービス価値とビジネス実現性を大幅に向上させます。ハードウェアとソフトウェアの先進の使用状況レポートと最適化ソリューションを提供します。お客様は、Open iTのツールやサービスを利用して、ITコストの削減、パフォーマンスの向上、ビジネスプロセスの改善をサポートしています。

Open iT ソフトウェアは、完全にカスタマイズ可能な使用状況レポート、ハードウェアとソフトウェアの使用状況に対するきめ細かいチャージバック、Windows、Unix、Linux プラットフォームにおける自動化された業界最先端のライセンス解放機能などを提供します。Open iTの計測および最適化ツールは、ソフトウェアおよびIT資産の管理者に、ライセンスマネージャを使用していないアプリケーションやウェブアプリケーションに加えて、異なるライセンスマネージャ間での高度な使用状況の計測結果を提供します。

詳細情報

お客様の組織のニーズに最適なソフトウェアソリューションの一部または全部については、sales-jpn@openit.com まで電子メールでお問い合わせください。詳細については、弊社のWebサイト (<https://openit.com/ja/>) をご覧ください。

お客様からのフィードバックを歓迎し、support-jpn@openit.com を通じて技術的な質問にお答えします。



JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂
二丁目23-1
アークヒルズ・フロントタワー
InControl内
電話:080-9271-1046

AMERICAS

Two Park Ten Place
16300 Katy Freeway
Houston, TX 77094

Tel: +1 281 599 3400

EUROPE | AFRICA

Karoline Kristiansens v. 5
N-0661 Oslo,
Norway

Tel: +47 22 20 40 50

ASIA | MIDDLE EAST

Doña Aurora Blvd.,
Gulang-Gulang, Lucena City
4301 Philippines

Tel: +63 42 710 856